

TOKYO COLLEGE

共に考える。未来のかたち Shaping a Shared Future Together

東京カレッジ
読書会

Zoom
Webinar

著者と考える 「人新世の 『資本論』」

このままで環境は大丈夫?豊かな社会とは?
2050年の未来社会をテーマに学び続ける東京カレッジの研究者たちが、いま知りたいこと、聞きたいことを、2021年新書大賞受賞作「人新世の『資本論』」(2020)の著者、斎藤幸平氏に問いかけ、議論します。

2021.10.12 [Tue.]
16:00~18:00

カレッジ研究者



赤藤 詩織



Maria
TELEGINA



寺田 悠紀



Hannah
DAHLBERG-
DODD



Marcin
Pawel
JARZEBSKI



細川 尚子



Flavia
BALDARI



王 雯璐

人新世の 「資本論」

気候変動、コロナ禍...
文明崩壊の危機。
唯一の解決策は
潤沢な脱成長経済だ。

2021
新書大賞
supported by
Chuokoron-shinsha
第1位

人新世【ひと-しんせい】
人類が地球を破壊しつづける時代

Das Kapital im Anthropozän

Saito Kohei
斎藤幸平

30万部
突破

集英社新書

講演者

斎藤幸平

大阪市立大学大学院経済学研究科准教授

ベルリン・フンボルト大学哲学科博士課程修了。博士(哲学)。専門は経済思想、社会思想。Karl Marx' s Ecosocialism:Capital, Nature, and the Unfinished Critique of Political Economy (邦訳『大洪水の前に』・堀之内出版)によって権威ある「ドイツチャー記念賞」を日本人初、歴代最年少で受賞。日本国内では、晩期マルクスをめぐる先駆的な研究によって「学術振興会賞」受賞。30万部を超えるベストセラー『人新世の「資本論」』(集英社新書)で「新書大賞 2021」を受賞。

会場

Zoom ウェビナー

言語

日本語

お問合せ

tokyo.college.event@tc.u-tokyo.ac.jp

配信アドレス / Address



登録は
こちらから

